2026年度
上半期業績の概要

2026年11月18日

大樹生命保険株式会社

日本生命グループ

目 次

大樹生命
日本生命グループ

１．　決算のポイント　・・・Ｐ３

２．　収支の状況　・・・Ｐ４

３．　新契約の状況　〔個人保険＋個人年金保険〕　・・・Ｐ５

４．　保有契約の状況〔個人保険＋個人年金保険〕　・・・Ｐ６

５．　保有契約の状況〔団体保険・団体年金保険〕　・・・Ｐ７

６．　損益計算書･貸借対照表　・・・Ｐ８

７．　有価証券含み損益、健全性　・・・Ｐ９

1．決算のポイント

大樹生命
日本生命グループ

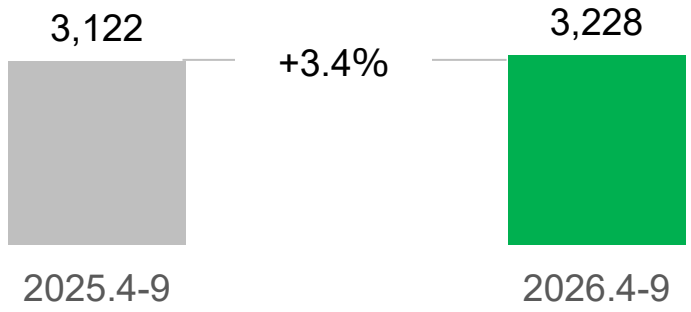
- **2026年度上半期決算は、増収・増益**
- **利差損益は、2000年度決算からの開示開始以降、初めての順ざや**

保険料等収入	**3,228億円** （前年同期比+3.4%）	・保険料等収入は、一時払外貨建養老保険の販売増加等により、増収
基礎利益	**309億円** （前年同期比+88.1%）	・基礎利益は、利息及び配当金等収入の増加等による利差損益の改善等により、増益
ソルベンシー・マージン比率	**275.6%**	・ソルベンシー・マージン比率は、国内株式の含み益が増加した一方、劣後債務の繰上償還を主因として前年度末から低下

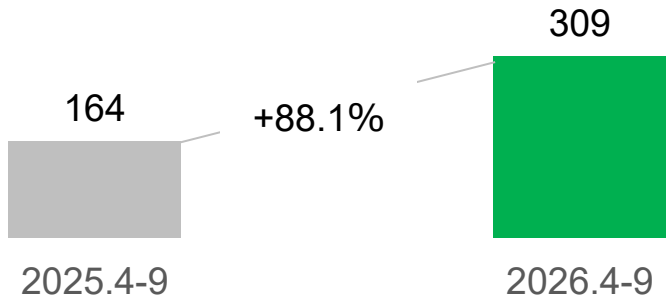
2．収支の状況

- 保険料等収入は、一時払外貨建養老保険の販売増加等により、前年同期比で増収。
- 基礎利益は、利息及び配当金等収入の増加等による利差損益の改善等により、前年同期比で増益。
- 利差損益は、2000年度決算からの開示開始以降、初めての順ざや。

保険料等収入　（単位：億円）



基礎利益



	2026年度上半期	前年同期比
基礎利益	309	+88.1%
利差損益	67	－＊
保険関係損益	241	+12.7%

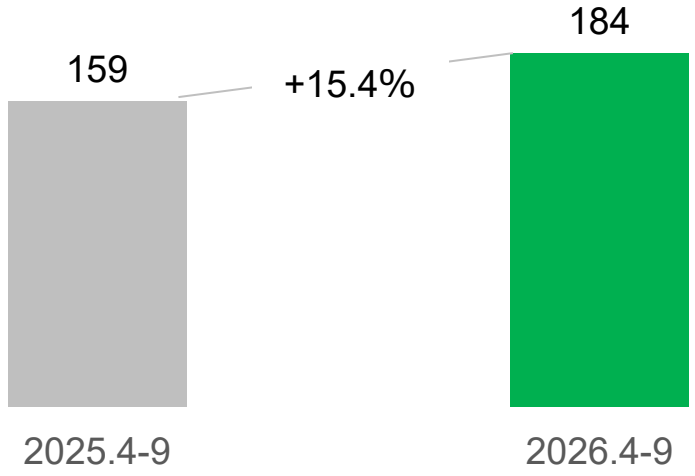
＊　当年度と比較対象年度の数値が異符号のため増減率算出不可

※　保険関係損益は、費差損益と危険差益の合計

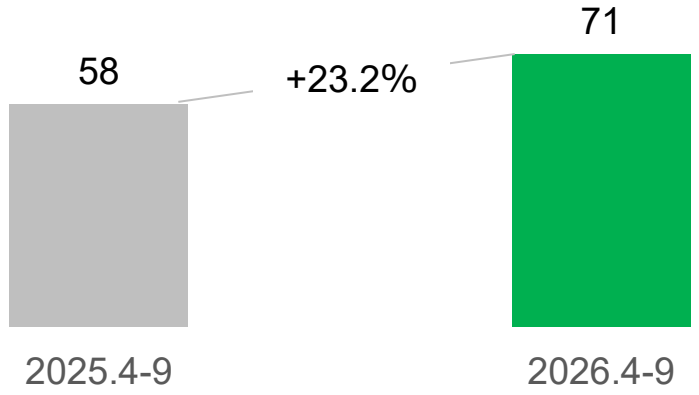
3．新契約の状況〔個人保険＋個人年金保険〕

- 新契約年換算保険料・新契約件数は、前年同期比で増加。

新契約年換算保険料（単位：億円）



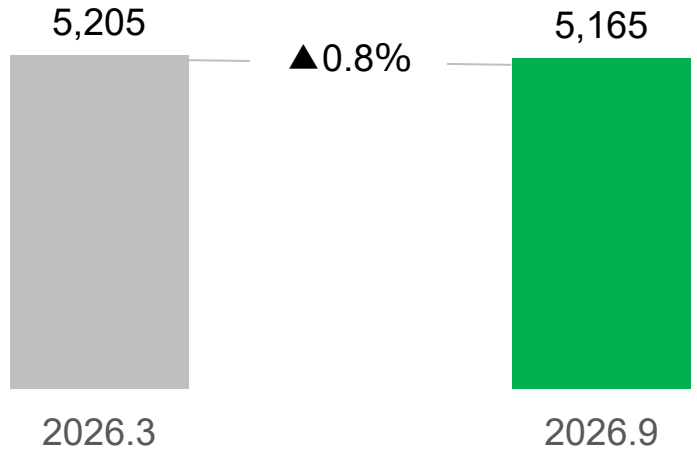
新契約件数（単位：千件）



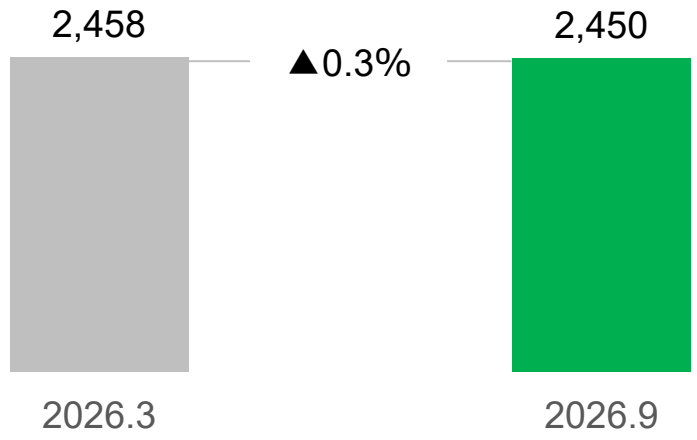
４．保有契約の状況〔個人保険＋個人年金保険〕

- 保有契約年換算保険料・保有契約件数は、前年度末比で減少。

保有契約年換算保険料（単位：億円）

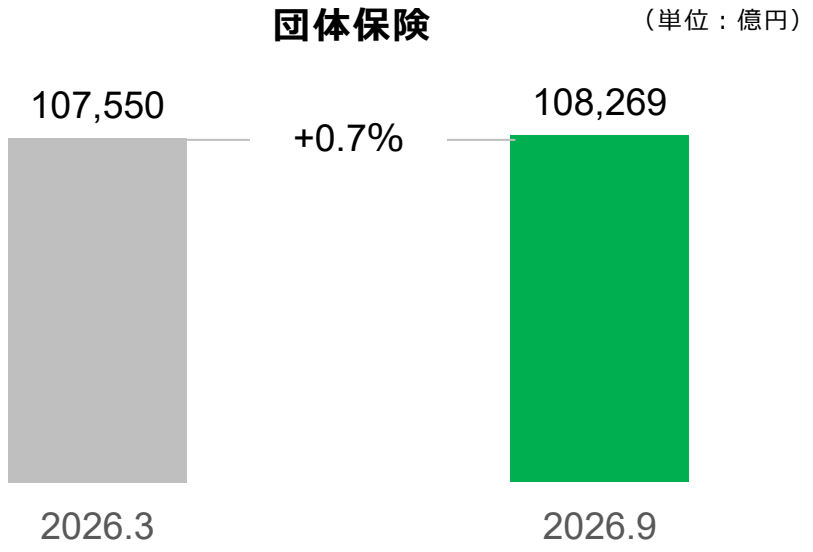


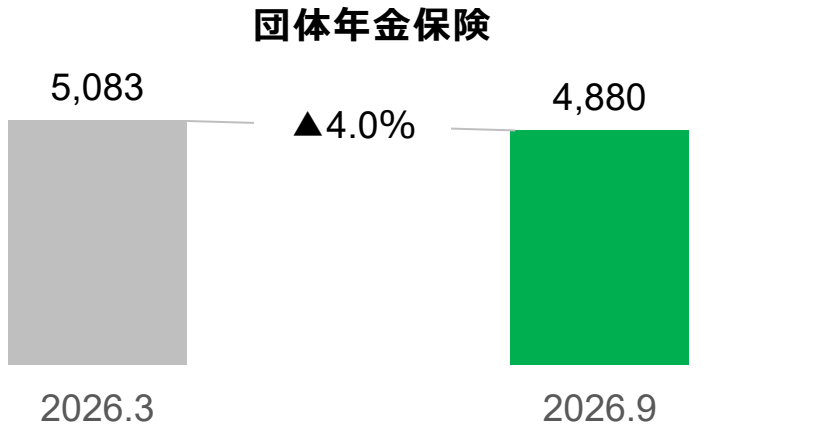
保有契約件数（単位：千件）



5．保有契約の状況〔団体保険・団体年金保険〕

- 団体保険（保有契約高）は、前年度末比で増加。
- 団体年金保険（保有契約高）は、前年度末比で減少。





※ 団体年金保険（保有契約高）は、責任準備金の金額

6．損益計算書･貸借対照表

- 経常利益は、前年同期比で減少。
- 中間純利益は、前年同期比で増加。

- 総資産･負債は、前年度末比で減少。
- 純資産は、前年度末比で増加。

＜損益計算書＞

（単位：億円）

	2026年度上半期	前年同期比
経常収益	6,058	+5.1%
保険料等収入	3,228	+3.4%
資産運用収益	1,418	▲44.6%
経常費用	5,859	+6.2%
保険金等支払金	4,643	+37.0%
資産運用費用	617	▲37.9%
事業費	461	▲1.6%
経常利益	199	▲19.8%
中間純利益	143	+39.2%

＜貸借対照表＞

（単位：億円）

	2026年度上半期末	前年度末比
総資産	78,113	▲2.0%
有価証券	66,160	+0.9%
貸付金	7,635	▲2.6%
有形固定資産	1,170	▲5.0%
負債	70,254	▲3.6%
保険契約準備金	66,767	▲2.0%
責任準備金	66,044	▲2.0%
純資産	7,858	+14.2%

7．有価証券含み損益、健全性

- 有価証券の含み損益は、国内株式の含み益増加の一方、公社債の含み損の拡大を主因に、前年度末比で減少。

- ソルベンシー・マージン比率は、国内株式の含み益が増加した一方、劣後債務の繰上償還を主因として前年度末から低下。

＜有価証券　含み損益＞

（単位：億円）

	2026年度上半期末	前年度末差
有価証券	339	▲ 110
国内公社債	▲ 6,288	▲ 1,309
国内株式	8,124	＋ 1,213
外国証券	▲ 1,964	▲ 273
その他	467	＋ 258

※市場価格のない株式等および組合等は除いて算出

＜ソルベンシー・マージン比率＞

	2026年度上半期末	前年度末差
ソルベンシー・マージン比率	275.6%	▲17.3 ポイント